

氏名	藤 本 明
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1 1 6 9 号
学位授与の日付	昭和 5 5 年 1 2 月 3 1 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	アルコール離脱症状におけるヒト髄液モノアミン代謝物質と環状ヌクレオチド
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 森 昭胤 教授 水原 舜爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

慢性アルコール中毒の生物学的研究としてアルコール離脱反応を対象に選び、アルコール禁断時における慢性アルコール中毒患者 20 名と健康対照者 8 名の髄液中 MHPG, HVA, 5-HIAA, C-AMP, C-GMP 濃度を測定して比較検討した。

アルコール離脱反応は多彩な症状を示し、均一の疾患ではないので、前期離脱症状群、せん妄群、禁断無症状群の 3 群に分類した。

自律神経症状を伴うせん妄群と強い自律神経症状を主徴とする前期離脱症状群で、正常対照群に比して有意な髄液 MHPG 濃度の増加を認めた。髄液 MHPG 濃度とアルコール離脱症状、とくに自律神経症状との間には有意な相関が認められた。

せん妄時に髄液 HVA, 5-HIAA, C-GMP 濃度が有意に低下するのを認めた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、慢性アルコール中毒を臨床生化学的に研究したものであるが、従来あまり調べられていなかった神経化学的側面に注目して、特に脳内のモノアミン（神経伝達物質）代謝変動が禁断現象発現機序において占める役割について、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。